



2018年3月期 第2四半期決算説明会

2017年11月8日

JASDAQ: 6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<http://www.nichidai.jp/>

ネットシェイプ事業

◆金型◆

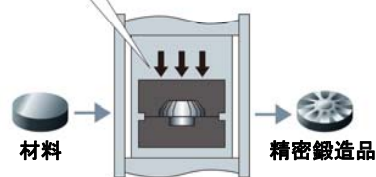
・金型生産、開発から部品製造までのトータルエンジニアリングを提案・提供。

◆精密鍛造品◆

・金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供。

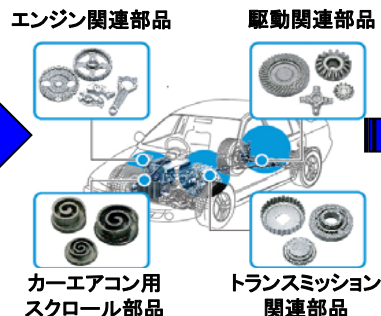
ネットシェイプ用の精密鍛造金型を設計・製造

切削・加熱することなく一発で複雑な形状に加工



部品メーカー(顧客)が精密鍛造金型を使って自動車用部品を生産

(一部当社でも生産)



主に自動車産業

【金型】

・国内の全自動車メーカー系列企業。
・海外の自動車部品メーカーとの取引も増加。

【精密鍛造品】

・自動車部品メーカー
(主製品はスクロール鍛造品)

アッセンブリ事業

・ターボチャージャー部品の組立。主力はVGターボチャージャー部品。

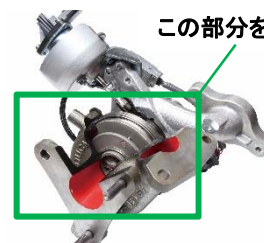
・国内およびタイ工場で組立て、顧客企業の現地調達ニーズに対応。



VGターボチャージャー部品

納入先メーカーでターボチャージャーの一部に組み込まれる

この部分を組み立て



VGターボチャージャー

自動車産業

全世界の自動車メーカー

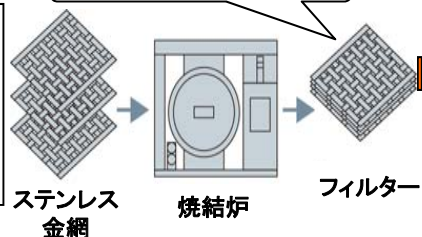
フィルタ事業

・複数のステンレス金網を一体構造化した積層焼結フィルターの生産。

・フィルターの洗浄・再生サービス。

独自の「拡散接合」技術を使ってフィルターを製造

微細で均一なる孔を実現



顧客メーカーの用途に応じて各種フィルター形状に加工



各種メーカー

石油、ガス、化学、繊維、食品、航空宇宙産業 など

ネットシェイプ事業

単独

ニチダイ (ND)

宇治田原工場



スクロール鍛造品



精密鍛造金型

- 精密鍛造金型の生産拠点。
- 約30名の開発人員を持つ。
- 鍛造プレスを保有。鍛造品の生産も行う。

アッセンブリ事業

京田辺工場



VGターボ
チャージャー部品



ガソリンエンジン車用
ターボチャージャー部品

- 国内におけるターボチャージャー部品の生産拠点。
- 平成27年に宇治田原工場より京田辺工場に移転。

フィルタ事業

ニチダイフィルタ (NFC)

宇治田原工場



積層焼結金網
フィルター

- 国内の開発・生産拠点。
- 焼結炉を5基保有。

海外拠点

ニチダイ アジア (NDA)

◆タイに立地する
金型販売拠点。

ニチダイ USA (NUC)

◆米国オハイオ州に
ある金型販売拠点。

ニチダイタイランド (NDT)

◆タイ・バンコク近郊にある海外子会社。ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業双方におけるアジアの戦略拠点。

ネットシェイプ事業

- ・エアコン用スクロール
コンプレッサー部品の生産。
- ・精密鍛造金型の生産

アッセンブリ事業

- ・ターボチャージャー部品
の製造販売
(海外ユーザー向け)

タイ・シンタート・メッシュ (TSM)



◆タイ北部・チェンマイ近郊に
立地するフィルターの生産拠点。
石油掘削用フィルターが主製品。
焼結炉を5基保有。

I .18/3期上半期実績

I .18/3期上半期実績 — P/L:売上・利益の状況 —

➤2018年3月期2Qは、増収増益となり、計画を超える結果となる。

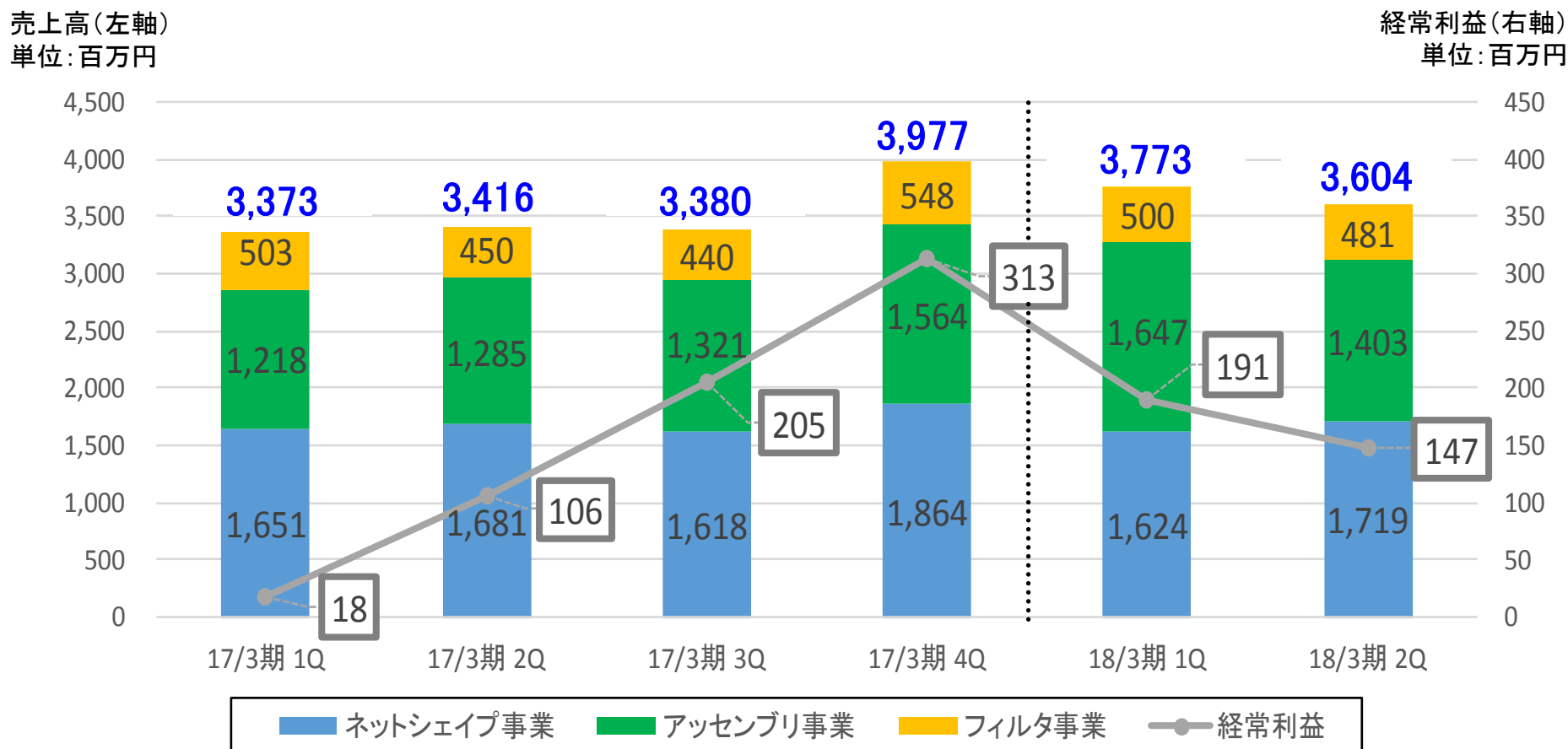
単位:百万円

	17/3 上半期実績 16/4-16/9	18/3 上半期計画 17/4-17/9	18/3 上半期実績 17/4-17/9	伸び率
売上高	6,790	7,200	7,378	8.7%
売上総利益	1,194	1,350	1,428	19.5%
販売管理費	1,019	1,050	1,101	8.1%
営業利益	175	300	326	85.8%
営業外損益	50	10	△12	—
経常利益	124	290	338	171.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	64	170	216	234.1%

*百万円未満切り捨て。

I .18/3期上半期実績 — 四半期別業績推移 —

- 2Qに入り、ネットシェイプ事業の売上高が回復し、前年同期以上の数値となる。
- アッセンブリ事業、フィルタ事業の2Qの売上高が1Qと比較し減少するも、高水準を維持。
- 経常利益についても、前年以上の水準で推移。



I .18/3期上半期実績 — 事業別売上高の状況 —

単位：百万円

	17/3 上半期実績 16/4-16/9	18/3 上半期実績 17/4-17/9	伸び率
ネットシェイプ	3,332	3,344	0.3%
アッセンブリ	2,503	3,051	21.9%
フィルタ	953	982	3.0%
連結計	6,790	7,378	8.7%

▶金型部門：2Qに入り売上高が増加し、前年並みの売上高となる。
 ▶精密鍛造品部門：海外生産が好調。

▶2Qから海外売上高が減少したが、高水準で推移。

▶ 医薬品産業向けなどが増加。

* 百万円未満切り捨て。

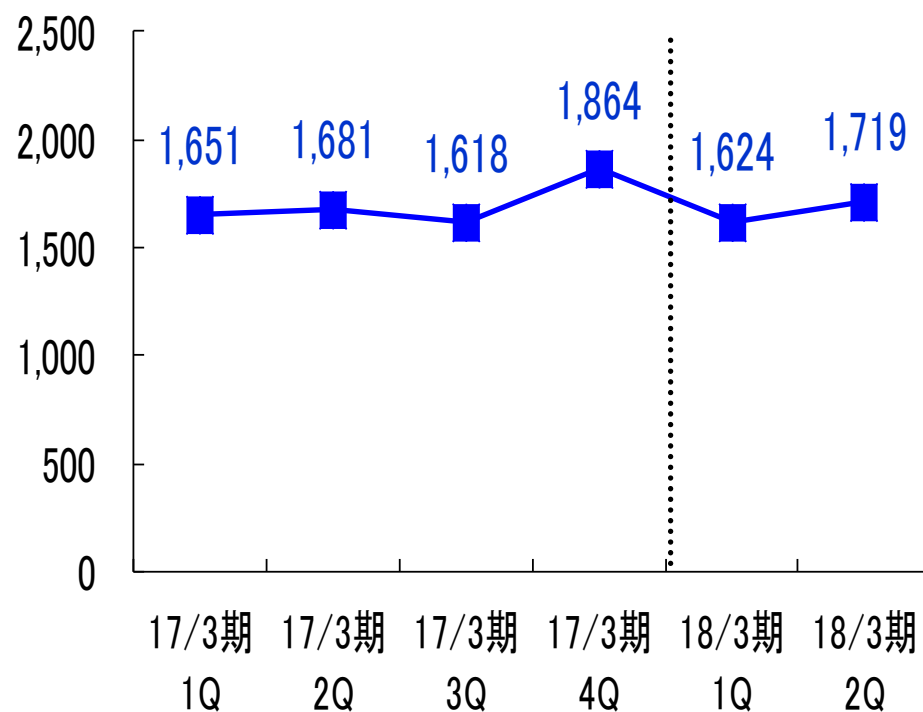
I .18/3期上半期実績 — ネットシェイプ事業概況 —

- ▶ 金型部門(国内)第2四半期より売上高が増加し、前年並みとなる。
(海外)東アジア地域向けの不調などにより減少。
- ▶ 精密鍛造品部門:(国内)スクロール鍛造品は前年並みで推移。
開発品が増加。
(海外)海外生産が増加。

ネットシェイプ事業売上高推移

国内外別売上高推移

単位:百万円



単位:百万円

	16/9 実績	17/9 実績	伸び率
金型(国内)	2,037	2,064	1.3%
金型(海外)	660	568	△13.9%
金型計	2,697	2,632	△2.4%
精鍛(国内)	299	331	10.7%
精鍛(海外)	335	380	13.3%
精鍛計	634	711	12.1%
ネットシェイプ計	3,332	3,344	0.3%

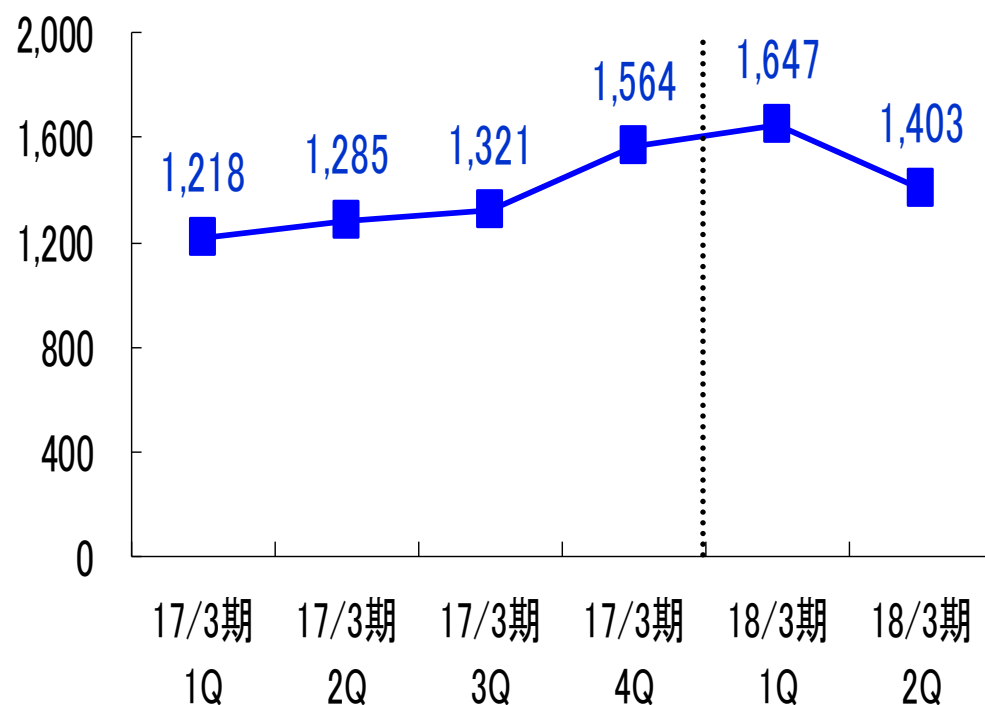
* 百万円未満切り捨て。

I .18/3期上半期実績 — アッセンブリ事業概況 —

- ▶ディーゼルエンジン車用、ガソリンエンジン車用双方のターボチャージャー部品の売上高が前年対比で増加。
- ▶2Qに入り、ガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品が減少したものの高水準の売上高を推移。

アッセンブリ事業売上高推移

単位:百万円



* 百万円未満切り捨て。

国内外別売上高推移

単位:百万円

	16/9 実績	17/9 実績	伸び率
国内	1,076	1,306	21.4%
海外	1,427	1,745	22.2%
総合計	2,503	3,051	21.9%

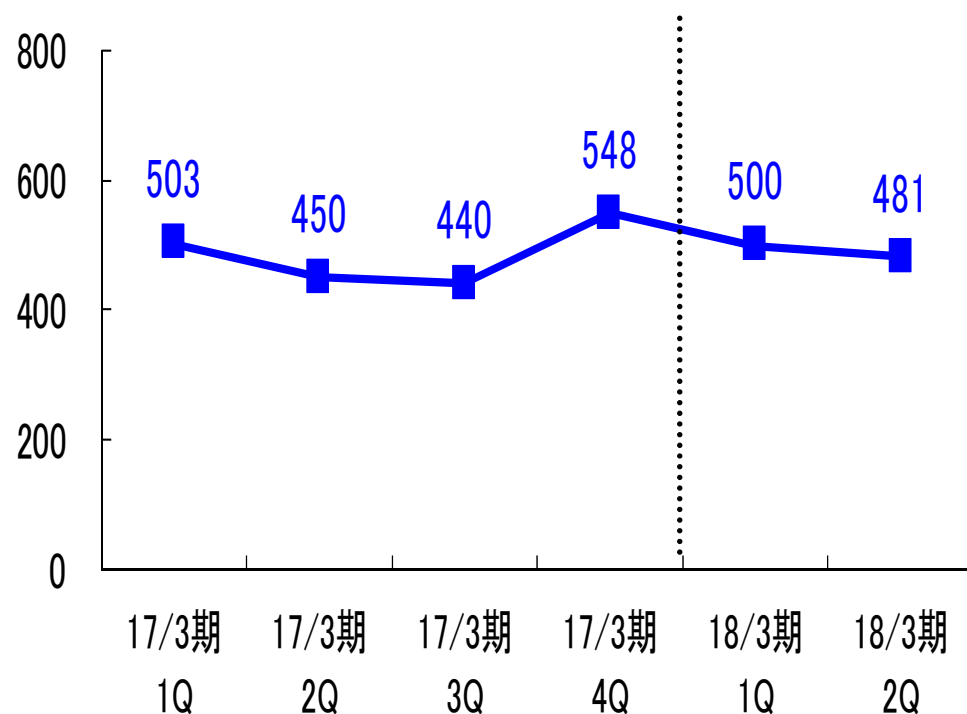
* 百万円未満切り捨て。

I .18/3期上半期実績 — フィルタ事業概況 —

- (国内) 大型海水ストレーナーの一時的な減少の影響があり、前年並みの売上高で推移。
- (海外) 医薬品産業向けの売上高が増加。

フィルタ事業売上高推移

単位: 百万円



* 百万円未満切り捨て。

国内外別売上高推移

単位: 百万円

	16/9 実績	17/9 実績	伸び率
国内	688	702	2.1%
海外	265	279	5.3%
総合計	953	982	3.0%

* 百万円未満切り捨て。

単位: 百万円

	16/9 売上高	経常 利益	利益率	17/9 売上高	経常 利益	利益率
ネットシェイプ	3,332	53	1.6%	3,344	96	2.9%
アッセンブリ	2,503	△17	△0.7%	3,051	164	5.4%
フィルタ	953	88	9.2%	982	78	8.0%
連結計	6,790	124	1.8%	7,378	338	4.6%

▶ 精密鍛造品部門が好調に推移。

▶ 増収効果による増益。

* 百万円未満切り捨て。

I .18/3期上半期実績 — 売上原価 —

単位:百万円

	16/9 実績	比率	17/9 実績	比率
売上高	6,790	100.0%	7,378	100.0%
材料費	2,240	33.0%	2,759	37.4%
製品仕入	402	5.9%	310	4.2%
外注加工費	560	8.2%	717	9.7%
補助材料費	221	3.3%	220	3.0%
人件費	1,267	18.7%	1,272	17.2%
減価償却費	331	4.9%	362	4.9%
在庫増減	△197	△2.9%	50	0.7%
その他	373	5.5%	357	4.8%
売上原価	5,595	82.4%	5,949	80.6%
売上総利益	1,194	17.6%	1,428	19.4%

材料費
売上高構成の変化による。

在庫増減
前年は、アッセンブリ事業
の在庫が減少。

* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

	16/9 実績	比率	17/9 実績	比率
売上高	6,790	100.0%	7,378	100.0%
荷造・運賃	74	1.1%	81	1.1%
旅費交通費	56	0.8%	57	0.8%
人件費	528	7.8%	531	7.2%
減価償却費	59	0.9%	64	0.9%
賃借料	31	0.5%	30	0.4%
その他	269	4.0%	336	4.6%
販売・管理費	1,019	15.0%	1,101	14.9%

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	16/9 実績	17/3 実績	17/9 実績	増減
現金預金	2,487	2,586	2,764	178
受取手形	622	643	595	△48
売掛金	2,854	3,382	3,237	△145
たな卸資産	2,204	2,021	2,156	134
その他	134	124	164	40
貸倒引当金	△1	△1	△1	0
流動資産計	8,302	8,756	8,916	160
有形固定資産	6,475	6,889	6,759	△130
無形固定資産	127	131	151	20
投資その他の資産	208	183	180	△3
固定資産計	6,811	7,204	7,091	△113
資産合計	15,113	15,961	16,008	46

* 百万円未満切り捨て。

* 増減は、17/3実績と17/9実績との差

I .18/3期上半期実績 — B/S:負債・純資産の状況 —

単位:百万円

	16/9 実績	17/3 実績	17/9 実績	増減
買掛金	1,290	1,573	1,593	20
短期借入金	1,503	1,378	1,171	△206
未払法人税等	62	95	127	31
賞与引当金	277	148	282	133
その他	679	1,078	1,071	△6
流動負債計	3,813	4,274	4,246	△28
長期借入金	1,007	830	851	20
その他	387	278	117	△161
固定負債計	1,395	1,109	968	△140
負債計	5,208	5,384	5,215	△168
資本金	1,429	1,429	1,429	0
資本剰余金	1,192	1,192	1,192	0
利益剰余金	6,656	6,925	7,051	126
非支配株主持分	825	936	979	42
その他	△199	92	138	46
純資産計	9,904	10,577	10,792	215
負債・純資産合計	15,113	15,961	16,008	46

固定負債 その他
リース債務の減少による。

* 百万円未満切り捨て。

* 増減は、17/3実績と17/9実績との差

単位:百万円

	16/9	17/9	増減
営業活動によるCF	1,015	917	△98
投資活動によるCF	△325	△311	13
財務活動によるCF	△157	△441	△283
現金及び現金同等物増減額	415	177	△237
現金及び現金同等物の期首残高	1,964	2,478	513
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,379	2,655	276
FCF	689	605	△87

営業活動によるCF
たな卸資産の増減額
(△は増加)
16/9 253百万円
17/9 △127百万円

* 百万円未満切り捨て。

Ⅱ. 18/3期通期見込

Ⅱ.18/3期通期見込 — P/L:売上・利益の状況 —

➤ 期初に発表した通期計画は変更なし。

単位:百万円

	17/3 通期実績 16/4-17/3	18/3 通期計画 17/4-18/3 (17年5月発表)	伸び率
売上高	14,147	14,700	3.9%
売上総利益	2,693	2,865	6.4%
販売管理費	2,051	2,125	3.6%
営業利益	642	740	15.3%
営業外損益	△1	20	—
経常利益	643	720	11.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	424	440	3.6%

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	17/3 通期実績 16/4-17/3	18/3 通期計画 17/4-18/3 (17年5月発表)	伸び率
ネットシェイプ	6,816	6,900	1.2%
アッセンブリ	5,388	5,800	7.6%
フィルタ	1,942	2,000	2.9%
連結計	14,147	14,700	3.9%

下半期の見込

➤金型部門及び精密鍛造品部門ともに、ほぼ計画通りで推移する見込み。

下半期の見込

➤ガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品が弱含みになる見込み。

下半期の見込

➤国内外ともに、当初の計画通りに推移する見込み。

* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	計画
設備投資額	627	1,605	1,290	1,313	774	966	1,140
減価償却費	539	602	764	879	970	793	895

* 百万円未満切り捨て。

	第2四半期	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
14年3月期	8.00	10.00 (普通配当8.00) (特別配当2.00)	18.00 (普通配当16.00) (特別配当2.00)
15年3月期	8.00	12.00	20.00
16年3月期	10.00	10.00	20.00
17年3月期	10.00	10.00	20.00
18年3月期(予想)	8.00	8.00(予想)	16.00(予想)

本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail : konno@nichidai.co.jp

テーマ	2018年3月期の当初見通し	上半期の状況	下半期の見通し
海外展開の強化	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域における売上高が増加する見込み。 ・北米地域が苦戦する見込み。 ・NDT:生産品種の拡大を目指す。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NDTにおけるスクロール鍛造品の生産は前年並みとなる見込み。 	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域における売上高が計画を下回る水準で推移。 ・金型の海外生産は前年と同水準で推移。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクロール鍛造品の海外生産が好調に推移。 	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内を中心に需要が回復している状況。受注活動が課題。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下半期も同水準で推移する見込み。
新規事業技術開発	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板鍛造など技術領域を広げるための開発を進める。 ・新規プレスを活用した、金型開発活動の強化。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規量産事業の立ち上げを模索。 ・既存生産品種の拡販も目指す。 	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規プレスNFD1000を本格的活用。 ・新規品を積極的に獲得していく動きを進めている状況。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を継続。 	<p>金型部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動継続。 <p>精密鍛造品部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動継続。

テーマ	2018年3月期の 当初見通し	上半期の状況	下半期の見通し
QDCの さらなる改善	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外とも、売上高増加を見込む。 ・構成部品の内製生産の効率化は継続。 ・生産自動化を強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産自動化ラインに向けた動きを加速。 ・構成部品の内製生産が増加。効率化の推進を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内：下半期については、ほぼ期初計画と同様の売上高になる予定。
海外展開の 強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン及び、ディーゼルエンジン車用双方の生産が増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン、ディーゼルエンジン車用ターボチャージャー部品の売上高が増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外：ガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品が弱含みで推移する見込み。
新規事業 技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ・アッセンブリ事業の国内の開発部門は、新規品獲得のためのバックアップを継続。 ・塑性加工技術を活用した構成部品内製化を継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成部品内製化の動きを継続。ネットシェイプ事業との協業により、開発を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内製化策、新規品獲得のための開発を継続。

テーマ	2018年3月期の当初見通し	上半期の状況	下半期の見通し
海外展開の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・TSMの石油掘削用フィルターに関しては、引き続き低水準で推移する見込み。 ・別途、新規開拓を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TSMの石油掘削用フィルターは、引き続き低水準で推移。 ・タイ国内向け及び日本国内向けのフィルターが増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、同様の動きを進めていく予定。
新規事業技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ・MM(メタルメッシュ)触媒フィルターの実用化に向けての動きを加速。 ・その他、燃料電池車用などの新しい用途開拓をするべく、活動を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・MM(メタルメッシュ)触媒フィルター実用化に向けて、各メーカーへの営業活動を継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・排ガスフィルターの販売活動を継続。
QDCのさらなる改善	<ul style="list-style-type: none"> ・大型海水ストレーナーの生産は同水準で推移する見込み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産向上のための活動を開始。 ・大型海水ストレーナーは、一時的に減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を継続。 ・大型海水ストレーナーは下半期計画水準に戻る予定。